広報つくばみらい特別号【2021.6.1】

政策情報版

”みらい”の今を知っておこう

皆さんと一緒に＂みらい＂をつくります！

市民によりそうまちづくり

つくばみらい市長
小田川（おだがわ）　浩（ひろし）

ごあいさつ

つくばみらい市では、市民の皆さまとの対話を重視した「市民によりそう市政」の実現に向けて歩みを進めてまいりました。

市民の皆さまからのご理解・ご協力を賜り、妊娠・子育て・教育支援、公共交通機関・道路網の整備拡充、高齢者支援、農商工の振興、防災・減災対策、行財政運営の効率化および新型コロナウイルス感染症対策など、多種多様な政策を推進できたこと、心より御礼申し上げます。

今回発行した「広報つくばみらい政策情報版」は、各種事業・制度を積極的にご活用いただきたく、子育てや福祉など、各分野別に紹介するものです。また、政策に関するご意見・ご質問などもお寄せいただき、「市民によりそう市政」の実現に向けてまい進してまいります。

みらいを語るば meeting で
皆さんの声を聴かせて
いただいています！

これまで 26 回開催！

三島・東地区の皆さんと
（令和元年 10 月開催）

新成人の皆さんと
（令和元年 11 月開催）

もくじ

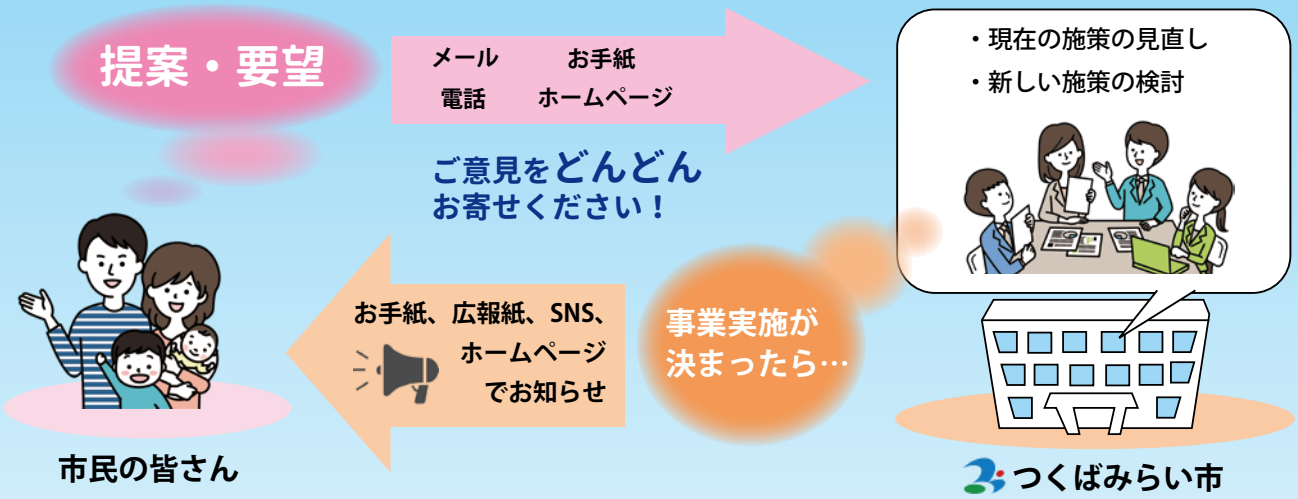
2　市民によりそうまちづくり
4　新たな拠点の形成、生まれる好循環
6　生まれる前から切れ目なく子育てをサポート
8　子どもたちの健やかな成長を応援します
10　住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまち
12　＂みらい＂に向かって変わる農業
14　みんなが安心を感じられるまちづくり

皆さんの声をお聴かせください！

市民の皆さんによりそうまちづくりとして、皆さんの声に耳を傾け、その声をまちづくりに反映させることで、より住みやすいまちにしていきます。

問 地域推進課

メールフォームはこちら▶



子育てと市民活動を支援

＼8月24日㈫／

みらい平市民センターがオープンします！

みらい平市民センターでは住民票などの証明書発行はもちろん、子育て支援の窓口や、市民活動を支援する窓口を設置。さらに、郵便局もオープンするなど皆さんの生活をより便利で充実したものにします。

4階
- ○Wi-Fi完備の会議室
  市民が利用できる会議室やテレワーク・コワーキングスペースを用意します。

3階
- ○市民活動支援窓口
  さまざまな分野において市民活動を行う皆さんを支援します！

2階
- ○おやこ・まるまるサポートセンター
  妊娠期から子育て期に至るまで、ずっと子育てに寄り添い、サポートします。

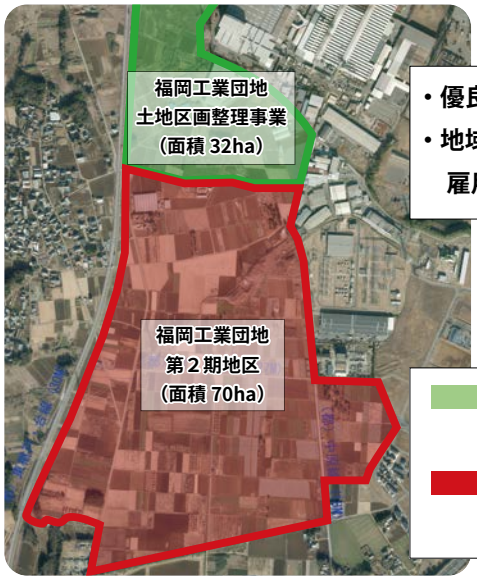
1階
- ○総合窓口・郵便局
  証明書の発行など総合的な業務を行う窓口のほか、郵便局が設置されます！

この冊子に使用している写真は、過去に広報つくばみらいに掲載したものです。

新たな拠点の形成、生まれる好循環

「福岡工業団地地区」、「（仮称）つくばみらいスマートインターチェンジ周辺」、「歴史公園周辺」を、地域特性に応じた工業や商業などが集積する「複合産業拠点」として位置づけ、産業基盤の形成を目指しています。

問 プロジェクト推進課



・優良企業が進出
・地域経済の発展と雇用創出へ期待

＝福岡工業団地（第１期地区）
＝福岡工業団地（第２期地区）

"みらい"につなぐ産業拠点
福岡工業団地

「福岡工業団地土地区画整理事業」の造成工事が、令和２年 11 月末に完了。道路・鉄道網などのアクセス性が高く評価され、すべての分譲地で進出企業が決定しました。

そして、引き続き活力あるまちづくりの実現に向け、市では「第２期地区」の整備に向け各方面と調整を進めてきました。茨城県が事業主体となることで、事業期間の短縮や優良企業の誘致が図れることから今後は茨城県と共同して早期着工に向け取り組んでいきます。

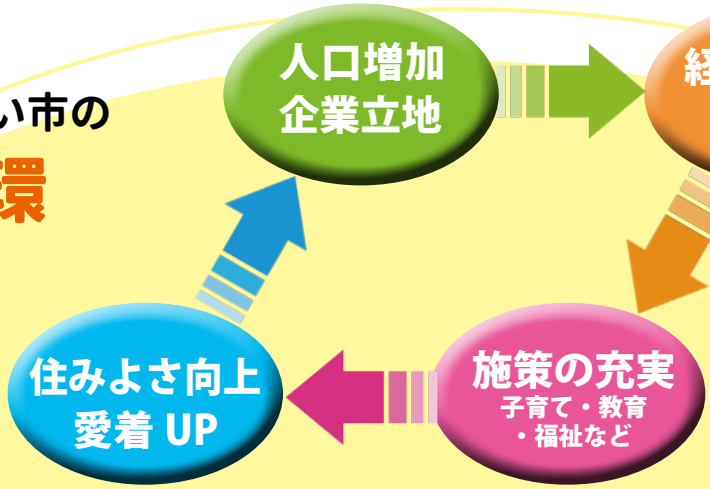
常磐道へのアクセス向上
スマートインターチェンジ

令和６年３月の供用開始に向け、SIC 事業をすすめています。また、その周辺地域において、市の魅力を発信する新たなエリアとして、広域的な賑わいを創出するための拠点形成を目指しています。

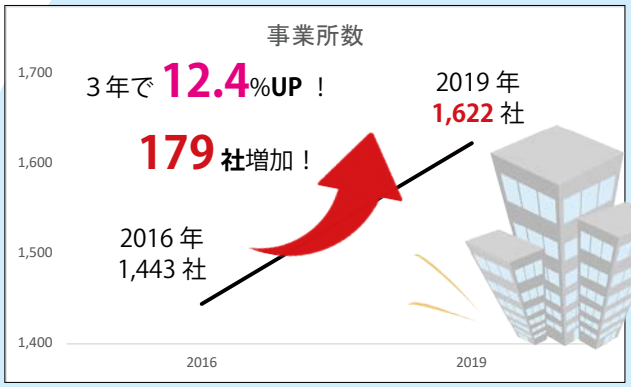
・2024 年供用開始予定
・経済効果とアクセス向上

スマートインターチェンジ予定地（古川）

つくばみらい市の好循環



この冊子に使用している写真は、過去に広報つくばみらいに掲載したものです。



出典：経済センサス

どんどん増えています！ 市内に新たな企業

３年間で、市内の事業所数は 12.4%増加しています。高砂熱学工業㈱・ピクシーダストテクノロジーズ㈱・東鉄工業㈱など優良企業の立地も進んでいます。

人口 15 年連続増加！ １万人以上増えました

市の人口は合併以来 15 年連続で増加を続けています。TX みらい平駅を中心としたまちづくりや、子育て・福祉施策の充実、市内外へのシティプロモーションなどにより子育て世帯を中心に人口増加につながっています。

出典：常住人口調査

税収増加で財源確保

人口増加や企業誘致は税収の増加につながっています。市民税や固定資産税、都市計画税の税収は、平成 29 年度（2017 年）からの２年間で約２億円増加しました。

官民連携でまちづくり

さまざまな企業とタッグを組んで、先進技術やノウハウを活用し、まちづくりの課題解決に向けてチャレンジしています。

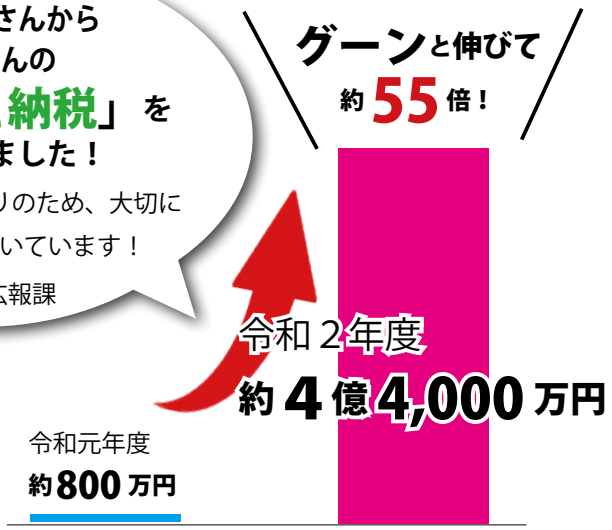
さまざまな企業とタッグを組んでいます

カスミ　日本郵便
ISEKI　Kubota
高砂熱学工業株式会社　HENNGE
Pixie Dust Technologies, Inc.　TOKYO CONTAINER　など

全国の皆さんから たくさんの 「ふるさと納税」 を いただきました！

より良いまちづくりのため、大切に使わせていただいています！

問 秘書広報課



ふるさと納税は こんなことに使われています

公園の維持管理
スクールバスの運行
みらい土曜塾実施
など

生まれる前から
切れ目なく子育てをサポート

保育園でも保護者との
やりとりで活用しています

妊娠期から「ずっと」子育てに寄り添います

無料！

コミュニケーションアプリ「CHROMO（クロモ）」を使って、**妊娠中～出産～子育て**に至るまで切れ目なくサポートします。問 こども課 健康増進課

- 妊娠中の定期的な支援情報発信
- 不安や悩みごとの相談

産後のサポートも充実！選べる「産後ケア」

出産後の母子をサポートするため、授乳指導や育児相談などを受けられる産後ケア事業を行っています。「訪問型」・「通所型」・「宿泊型」を実施しています。 問 健康増進課

妊娠

- 2022年オープン予定
- 県内で10年ぶり

産婦人科医院を誘致しました

「産科医療施設開設補助制度」を創設し、積極的な誘致活動を行った結果、「産婦人科医院」の新規開設が決定しました。

問 健康増進課

出産

産前産後の家事や育児を代行サポート！

妊娠中や出産後、つわりや育児疲れなどの理由で支援が必要な家庭に対して、子育て経験者などが家事や育児の支援を行うサービスを9月からスタートします。

問 こども課（おやこ・まるまるサポートセンター）

主な支援：食事・洗濯・掃除・おむつ交換など
利用料金：30分350円
（ひとり親家庭などは無料）

新設！「おやこ・まるまるサポートセンター」

つくばみらい市は、あなたを「ひとりぼっち」にさせません！

みらい平市民センターの２Ｆにできる**「おやこ・まるまるサポートセンター」**では、母子健康手帳の交付から、妊娠中の体調、悩みや不安ごとの相談にも乗ります。また、各子育て支援室に配置する**「ママ・パパかかりつけコーディネーター」**が、子育てに関する悩みや不安で孤独にならないよう、身近な存在として寄り添い、あなたをサポートします。

問 こども課

「子育て支援室」が充実 自分スタイルな仲間づくり

みらい平市民センター内に**子育て支援室「ＢＬＯＯＭ（ブルーム）」**を新設します。ゆったりとした空間の中、のんびりと気の合う仲間を見つけていけます。また、保育士やボランティアに気軽にご相談いただけます。

子育ての悩みや不安は一緒に解決

発育に関する悩みや育児に関する不安などを抱える保護者向けに、子どもとの関わり方を学ぶ**「ペアレント・トレーニング」**を行いながら、楽しく子育てができるようサポートを行っています。

お子さんのことを一緒に学んでいきましょう！

・子どもの行動の特性
・親も子も楽になるコミュニケーションのコツ　など

子育て

生まれた**赤ちゃん全員を訪問**します

赤ちゃんが生まれたら、助産師や保健師がご自宅を訪問し、お子さんやお母さんの健康状態をうかがいます。

問 健康増進課

- **赤ちゃんの発育状況確認**
- **お母さんの健康状態確認**
- **育児相談　など**

新たに**小規模保育園を２つ開園**

待機児童の解消と増加する保育や子育て支援のニーズに対し、需要が高い０，１，２歳児のお子さんの保育や一時預かりの充実を図るため、令和４年４月までに新たに開園予定の小規模保育園２園の開園を支援します。

問 こども課

交付金を活用

小学校入学からの**健康管理**もサポート

LEBER

小中学生の体調管理のために**「デジタル健康観察表 LEBER（リーバー）」**を導入しています。体温や体調などの情報を保護者と学校で共有し、健康管理や出欠管理に活用します。

問 学校総務課

この冊子に使用している写真は、過去に広報つくばみらいに掲載したものです。

子どもたちの健やかな成長を応援します

医療費の負担を減らします

問 国保年金課

（令和３年 10 月診療分からのマル福）

小児マル福

自己負担軽減

外来診療分の受給対象者を拡大します。

中学３年生まで → **高校３年生まで**

ひとり親家庭マル福

自己負担ゼロ

自己負担金（外来・入院）を払い戻します。

子どもたちの「学びたい」をサポート

学力向上のため、子どもの習熟状況に合わせた学習支援**「みらい土曜塾」**を行っています。令和３年度は実施場所を２カ所増やし、４カ所で実施します。

問 教育指導課

「こども食堂」市内６カ所で実施

子どもが気軽に立ち寄り、安心して過ごせる居場所づくりや、地域で見守る環境づくりに向け、「こども食堂」を運営する団体への支援を行っています。

問 社会福祉課

★「みらい土曜塾」 ４カ所
●「こども食堂」 ６カ所

今後も支援箇所を拡大していきます！

学校教育環境の充実

英語教育の強化で グローバルな人材育成へ

令和３年度は、小学校に**英語専科教員**、中学校に**英検対策支援員**を配置。また公立幼稚園でも、英語に触れる機会を増やしています。英語力を伸ばすことで、将来グローバルに活躍するための基礎を育みます。

問 教育指導課

論理的思考力を養い、自分で考えられる子を育てる

小学校１年生から中学校３年生まで、**１人１台タブレット端末**を導入しました。令和３年度からは、新たに**ＩＣＴ支援員**を配置し、プログラミング教育を充実させます。

問 教育指導課

未来ある子どもたちを**奨学金**で応援

高校や大学を卒業するまで、高校生で月２万円、大学生で月３万円を**無利子**で借りられます。

問 学校総務課

さらに！

新型コロナの影響を受けた場合
→高校生で月２万円
→大学生で月３万円
の**追加支援**も！

小中学生ひとりに１台
タブレットPCを配布

今後は万が一休校になっても、自宅にいながら授業を受ける**「リモート授業」**にも対応できる環境が整いました。

全中学生の**自転車保険加入料**を市が負担

市立中学校に通う全生徒の自転車保険料を、市が負担し、まとめて加入します。事故を起こしてしまった時に備えつつ、保護者の負担軽減をはかります。

問 学校総務課

小中学校に**２学期制**導入

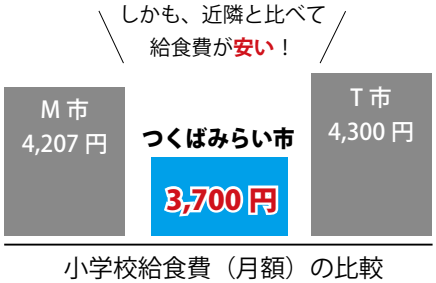
子どもたちがじっくりと考える時間や、先生が子どもたちと向き合う時間を増やすことで指導の充実につなげています。

問 教育指導課

地元食材をふんだんに使った給食で**地産地消**

市内の公立小中学校と幼稚園で子どもたちが食べる給食には、市内の農家さんが育てた新鮮で安心なおいしい食材がふんだんに使われています。

問 学校給食センター



小学校給食費（月額）の比較

この冊子に使用している写真は、過去に広報つくばみらいに掲載したものです。

住み慣れた地域で いきいきと暮らせるまち

ひとり暮らしの方をダブルの見守りで支えます

1.緊急通報システム 見守りサポート

ボタン1つで緊急通報

緊急通報システムや見守りセンサーを設置して、急病などの際にアイネットが対応し、消防などに出動要請をします。また、健康や暮らしに関する相談や月に一回オペレーターが連絡を取ります。 問 介護福祉課

2.郵便局のみまもりサービス

日本郵便

郵便局社員などが月に1回、自宅を訪問し、お話をしながら体調や食事、心配事などを伺います。確認した内容は、登録したご家族にメールまたは郵送でご連絡します。 問 介護福祉課

誰もが暮らしやすいまちづくりを進めています

障がい者総合相談窓口を開設しています

「基幹相談支援センターポプラ」を社会福祉協議会（きらくやま）に開設し、障がい者の様々な相談に対応します。 問 社会福祉課

思いやりの環境づくり（合理的配慮）の提供を支援しています

障がいのある方もない方も利用しやすいよう、事業者などに合理的配慮の環境整備にかかる費用を助成します。 問 社会福祉課

例えば…

折りたたみ式の◀スロープを設置

筆談ボードを設置▶

ゴミ出しが困難な方をお手伝いします！

ゴミ出しが困難な高齢者、障がい者宅に伺いごみを回収する支援事業を行っています。 問 生活環境課

地域公共交通の充実で「移動」をサポート

コミュニティバスの再編、病院バス運行、移動スーパーによる買い物支援など、日々の移動手段の確保に努めています。

病院バス

問 都市計画課

無料の病院バスで通院も安心

- 「筑波学園病院」まで直通
- 「ＪＡとりで総合医療センター」行も運行予定

移動スーパー

問 介護福祉課

カスミと提携した移動スーパー 買い物を身近で便利に

- 毎週、市内 58 カ所を巡回
- 肉や野菜など約 400 品目を取り扱い
- 事前注文でカスミの店舗で売っているものが購入可能

コミュニティバス

問 都市計画課

大幅増便でさらに使いやすく

- 電気バス導入（県内初）
- ２台→５台にバスを増車
- １日 27 本→ 46 本に大幅増便

65 歳以上は申請で運賃が 100 円！

免許返納に１万円分の公共交通利用券を交付

高齢者の自主的な免許返納を応援し、交通事故の未然防止に取り組んでいます。返納した方には市のコミバスなどで使える１万円分の利用券を交付しています。 問 防災課

- PASMO も選べる
- 窓口で即日交付

手続きが簡単になりました

住み慣れた地域で自分らしく健康に暮らす

きらくやまの入浴施設が新しくなりました！

壁にヒノキを使った明るい浴場内では、心地よい木の香りに包まれます。サウナにも贅沢にヒノキを使用。気持ちよく汗を流せます。 問 社会福祉課

75 歳以上の健診オプション検査が無料

75 歳以上の皆さんは後期高齢者の健康診査を受けた場合、オプション検査を無料で受けられます。これにより病気の早期発見や生活習慣病の予防などが期待できます。 問 健康増進課

- 貧血検査　・心電図検査　・眼底検査
- 腎機能検査　のオプション検査が無料に！

運動公園を改修 生涯スポーツを楽しめる

市総合運動公園の多目的広場を改修しました。ターゲットバードゴルフなどを楽しむことができます。

問 スポーツ推進室

この冊子に使用している写真は、過去に広報つくばみらいに掲載したものです。

"みらい"に向かって変わる農業

広大な農地と豊かな水に恵まれた、関東有数の米どころ。おいしいものを味わえる日常を大切に、野菜やお米の生産を支援しています。

問 産業経済課

・毎月第１土曜日開催

「あさのいち」で地産地消と魅力発信

若手農業者「つくばみらい４Ｈクラブ」から、地元でとれた新鮮で安心な野菜やお米を購入することができます。

雑貨販売などの出店もあります

あさのいち
公式 Twitter

関東有数の米どころ「谷原三万石」

米どころ「つくばみらい」を育むために

農業資材や病害虫対策の費用を助成しています。
被害が増えているカメムシには特に重点的に対処します。

・補助率 UP　20% → 50%

皆さんの食卓に、安全でおいしいお米が届くよう、生産者を支援しています。

米コンテストを開催！市内のお米を PR します！

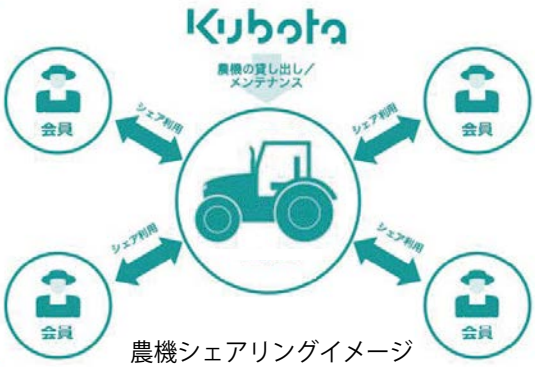
市内産米のコンテストを開催し、付加価値を創出することで、農業者の生産意欲や技術力を高めるとともに、認知度向上を目指します。

実証実験
共同研究 **実施中！**

新規就農支援 × Kubota

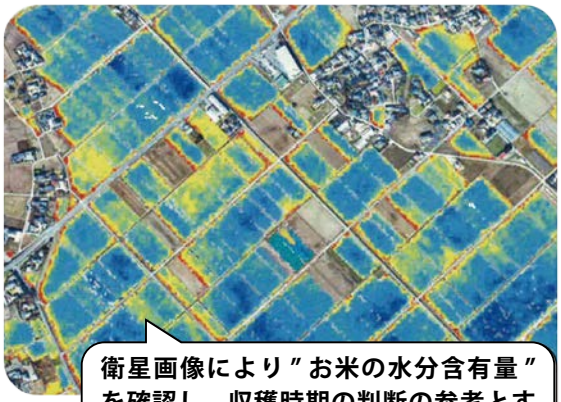
先輩生産者から、農業経営のアドバイスも

「農地確保」「農業機械のシェアリング」「営農ノウハウの継承」などに連携して取り組み、農業に参入しやすい環境を整えました。新規就農者を増やすことで、次世代へつながる持続的な農業の実現を目指しています。



農機シェアリングイメージ

スマート農業 × ISEKI



衛星画像により”お米の水分含有量”を確認し、収穫時期の判断の参考とすることができます。

さまざまなスマート農機を活用した、農作業の自動化・効率化を目指しています。令和３年度からは、**水田水位センサーの購入を支援**し、多大な労力が必要であった水管理の負担軽減を図ります。

スマホで手軽に
田んぼの水位を管理

購入費の 50%を補助

筑波大学と連携し、農業のみらいを本気で考える

筑波大学
University of Tsukuba

地産地消など、本市の農業課題の解決を目指して、筑波大学の研究ノウハウや学生たちの柔軟な発想を生かした共同研究を行っています。

この冊子に使用している写真は、過去に広報つくばみらいに掲載したものです。

みんなが安心を感じられるまちづくり

伝わる情報発信で皆さんを災害から守ります

誰もが必要な情報を入手できるように、防災アプリを取り入れました。 問 防災課

Android
（GooglePlay）

iPhone
（AppStore）

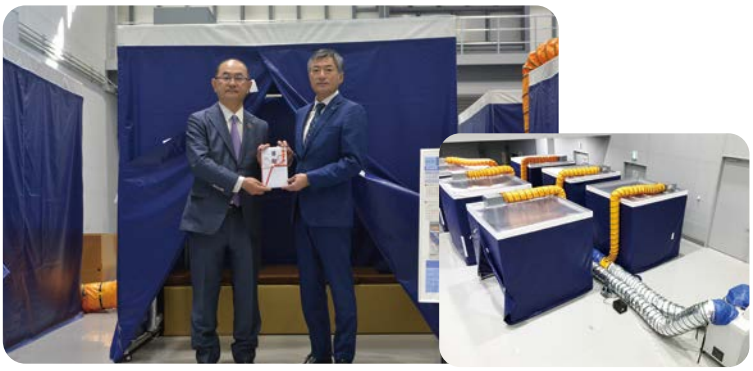
防災アプリで放送内容や
市内の災害情報をいつでも確認！

持続可能なまちづくりに向け高砂熱学工業㈱と連携

大型オフィスビルなどの空調設備で国内トップシェアを誇る高砂熱学工業㈱との連携協定により、災害に強いまちづくりに向けた取り組みを進めています。 問 防災課

高砂熱学イノベーションセンター（富士見ヶ丘）

災害時にもこんなことができます！
- **太陽光発電などで 24 時間発電！**
- **スマホや電気自動車も充電できる！**
- **断水時は貯水している地下水が使える！**



空調設備とセットになった**避難所用テント「コロナ対策空調換気ブース」**を寄贈いただきました。コロナ禍において感染拡大防止策を徹底した避難所の設営ができるようになりました。

安心できる避難所の整備

安心して避難所での生活ができるように生活用品を備蓄しています。 問 防災課

例えば…

赤ちゃんのいるお母さんも安心
- 授乳服
- 授乳用インナー
- おむつポット
- 液体ミルク
- 使い捨て哺乳瓶　　など

密を避けるためにも、
プライバシー保護のためにも
- 段ボールパーテーション
- エアベッド　　など

地域のチカラを防災に
自主防災組織結成へ補助

新たに結成される自主防災組織に対し、結成に必要な費用を補助し、地域の防災活動を支援します。　問 防災課

空き家を減らす取り組み

空き家バンクへ登録することにより、売買希望者とのマッチングを支援します。また、家財処分費、リフォーム費を補助して空家の利活用を推進します。　問 空家対策室

経費の１/２を補助

- リフォーム　上限 50 万円の補助
- 家財処分　上限 10 万円の補助

新型コロナへの対応

新型コロナウイルス感染症感染拡大を防止しながら、影響を受けている地域経済や市民生活を支援する取り組みを行ってきました。その一部をご紹介します。

■Wプレミアム付商品券

- 5,000 円で 7,000 円分の商品券に！
- 事業者には換金時に 10%上乗せ支援

■子育て世帯への応援金

- 市独自に実施
- 最大３万円の応援金

■小中学校に無料の自動販売機設置

■ 10 万円の特別定額給付金をいち早く皆さんのもとへ

■子育て支援室と飲食店でテイクアウトメニューを共同開発

■医療機関に発熱外来プレハブ設置

■次亜塩素酸水の無料配布

■そのほかの支援策

- マスク品薄時に配布（65 歳以上、医療関係者、妊産婦、小中学生対象）
- 学校休業期間中の給食費を無償化
- 融資手続きに関する証明書発行手数料の免除
- アマビエクーポンの発行と協力事業者への支援金
- 雇用継続支援事業助成金／事業継続支援助成金
- 谷和原庁舎に経営相談窓口設置
- 感染症に対応した非常用備蓄品を配備
- 保育施設従事者への応援金
- 図書館に本の除菌機設置　　ほか

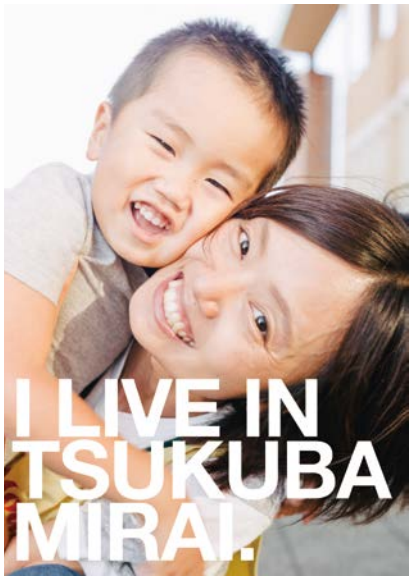
この冊子に使用している写真は、過去に広報つくばみらいに掲載したものです。

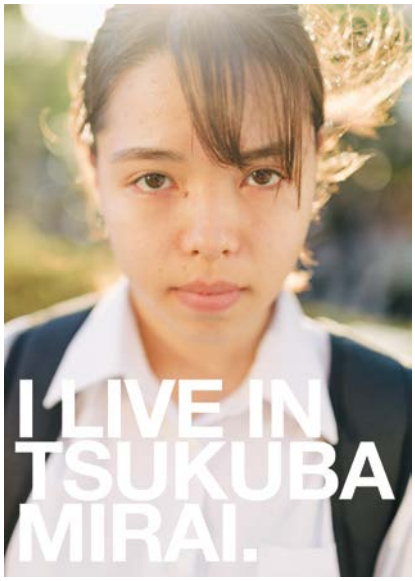
I LIVE IN
TSUKUBA
MIRAI.

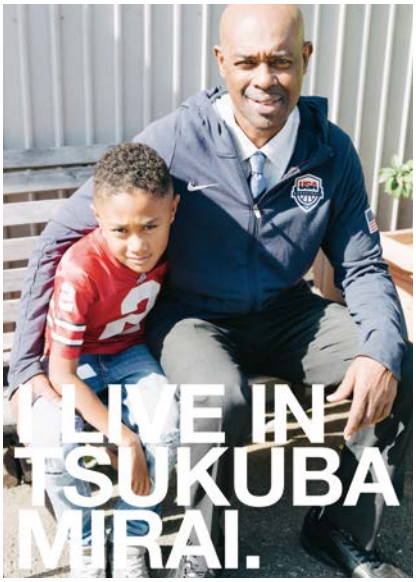
100 年間、愛される地元をつくるために。

市では、I LIVE IN TSUKUBAMIRAI. を合言葉に、市民の皆さんがつくばみらいに住んでいることを誇りに思ってもらえるよう、プロモーション活動を行っています。100 人の市民がモデルのポスターなど、詳しくは右の QR コードへ。

https://www.tsukubamirai.live/







［編集・発行］　〒 300-2395　茨城県つくばみらい市福田 195
茨城県つくばみらい市 市長公室 秘書広報課
☎ 0297 58 2111　　FAX 0297 58 5611